



平成30年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

平成30年2月13日

上場会社名 As-meエステール株式会社
 コード番号 7872 URL <http://www.as-estelle.co.jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 丸山 雅史
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役 (氏名) 羽生 達夫
 四半期報告書提出予定日 平成30年2月14日
 配当支払開始予定日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
 TEL 03-5777-5120

(百万円未満切捨て)

1. 平成30年3月期第3四半期の連結業績(平成29年4月1日～平成29年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
30年3月期第3四半期	24,340	1.0	1,154	64.3	1,129	137.4	597	
29年3月期第3四半期	24,100	2.3	702	82.5	475	61.6	62	

(注) 包括利益 30年3月期第3四半期 595百万円 (%) 29年3月期第3四半期 52百万円 (%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
30年3月期第3四半期	54.29	
29年3月期第3四半期	5.59	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
30年3月期第3四半期	33,931	13,324	39.3	1,233.03
29年3月期	32,992	13,270	40.2	1,189.55

(参考) 自己資本 30年3月期第3四半期 13,324百万円 29年3月期 13,270百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
29年3月期		0.00		24.00	24.00
30年3月期		0.00			
30年3月期(予想)				24.00	24.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成30年3月期の連結業績予想(平成29年4月1日～平成30年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	32,440	0.4	1,630	19.9	1,590	23.1	870	99.5	79.05

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 (3)四半期連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

30年3月期3Q	11,459,223 株	29年3月期	11,459,223 株
----------	--------------	--------	--------------

期末自己株式数

30年3月期3Q	652,558 株	29年3月期	303,158 株
----------	-----------	--------	-----------

期中平均株式数(四半期累計)

30年3月期3Q	11,006,111 株	29年3月期3Q	11,156,087 株
----------	--------------	----------	--------------

四半期決算短信は四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	5
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	6
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(追加情報)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益は引き続き堅調に推移し、雇用環境においても引き締まった状態が継続しており、給与所得が緩やかに伸びるなか、個人消費も選別的消費の傾向を強めながらも底堅く推移しました。一方で、米国・欧州では景気は拡大基調にあるものの、経済政策動向には不透明感があり、景気先行きについては不確実性を残しております。

当第3四半期連結累計期間の業績は、売上高は、当期に開始した飲食店事業及び食品販売事業の寄与などにより243億40百万円（前年同期比1.0%増）となりました。営業利益は、自社製品の原価低減及び不採算店の圧縮による販売費の減少などにより11億54百万円（前年同期比64.3%増）となり、経常利益は、海外子会社の為替差損の減少などにより11億29百万円（前年同期比137.4%増）となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益は、ベトナム子会社における台風による被害を特別損失に計上しましたが、当社が連結子会社の吸収合併を決定したことによる法人税等の減少などにより5億97百万円（前年同期は62百万円の損失）となりました。

なお、当四半期における当社グループの主な店舗展開は以下のとおりです。

セグメント	宝飾品		眼鏡	その他
会社名	A s - m e エステール ㈱	㈱B L O O M	キンバレー㈱	ヴィレッジヴァン ガードブレース㈱
前期末店舗数	357	85	50	—
新規出店	14	3	9	2
閉店	△17	△23	△1	—
当四半期末店舗数	354	65	58	23

- (注) 1. ㈱B L O O Mの店舗数には、消化仕入契約に基づく百貨店等への出店を含んでおります。
2. その他に区分したセグメントは、飲食店事業及び食品販売事業であります。
3. ヴィレッジヴァンガードブレース㈱の当四半期末店舗数は、会社分割により承継した21店舗を含んでおります。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末の329億92百万円より9億38百万円増加し、339億31百万円となりました。主な増減は、歳末商戦などに係る受取手形及び売掛金の増加7億53百万円、たな卸資産の増加3億97百万円、会社分割承継によるのれんの増加2億55百万円及び同承継などによる有形固定資産の増加1億58百万円と、現金及び預金の減少4億36百万円及び敷金及び保証金の回収による減少1億67百万円などであります。

負債合計は、前連結会計年度末の197億21百万円より8億84百万円増加し、206億6百万円となりました。主な増減は、長期借入金の増加4億83百万円、歳末商戦などに係る支払手形及び買掛金の増加4億34百万円、歳末商戦などに係る前受金の増加などによる流動負債のその他の増加2億58百万円及び1年内返済予定の長期借入金の増加2億39百万円と、未払法人税等の減少4億64百万円及び賞与引当金の減少1億51百万円などであります。

純資産合計は、前連結会計年度末の132億70百万円より54百万円増加し、133億24百万円となりました。主な増減は、四半期純利益5億96百万円と、自己株式の取得による増加2億74百万円及び剰余金の配当2億67百万円による利益剰余金の減少などであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成29年5月12日に公表した平成30年3月期の連結業績予想を修正しております。詳細につきましては本日公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,895	7,459
受取手形及び売掛金	2,402	3,156
商品及び製品	9,746	10,035
仕掛品	1,738	1,636
原材料及び貯蔵品	2,263	2,473
その他	479	350
貸倒引当金	△0	△1
流動資産合計	24,526	25,110
固定資産		
有形固定資産	2,434	2,592
無形固定資産		
のれん	-	255
その他	206	198
無形固定資産合計	206	453
投資その他の資産		
敷金及び保証金	3,485	3,317
その他	2,341	2,457
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	5,825	5,774
固定資産合計	8,466	8,820
資産合計	32,992	33,931
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,449	4,883
1年内返済予定の長期借入金	3,476	3,716
未払法人税等	488	23
賞与引当金	397	245
その他	2,104	2,362
流動負債合計	10,916	11,232
固定負債		
長期借入金	6,463	6,947
役員退職慰労引当金	560	578
退職給付に係る負債	1,710	1,729
資産除去債務	61	110
その他	9	8
固定負債合計	8,805	9,374
負債合計	19,721	20,606

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成29年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成29年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,384	3,384
利益剰余金	8,456	8,786
自己株式	△146	△421
株主資本合計	13,265	13,320
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	48	44
為替換算調整勘定	△52	△53
退職給付に係る調整累計額	9	13
その他の包括利益累計額合計	4	4
純資産合計	13,270	13,324
負債純資産合計	32,992	33,931

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成29年4月1日 至平成29年12月31日)
売上高	24,100	24,340
売上原価	9,061	8,971
売上総利益	15,039	15,369
販売費及び一般管理費	14,336	14,214
営業利益	702	1,154
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	6	4
受取手数料	29	26
その他	27	32
営業外収益合計	63	64
営業外費用		
支払利息	58	40
為替差損	211	28
その他	20	21
営業外費用合計	290	90
経常利益	475	1,129
特別利益		
固定資産売却益	-	2
投資有価証券売却益	13	-
受取補償金	35	8
工事負担金等受入額	-	13
特別利益合計	49	24
特別損失		
固定資産除売却損	4	0
店舗閉鎖損失	15	4
減損損失	164	147
災害による損失	-	103
その他	0	-
特別損失合計	184	255
税金等調整前四半期純利益	340	897
法人税等	402	301
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△62	596
非支配株主に帰属する当期純損失(△)	-	△1
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△62	597

(四半期連結包括利益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成29年4月1日 至 平成29年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△62	596
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	△4
為替換算調整勘定	△15	△0
退職給付に係る調整額	23	4
その他の包括利益合計	9	△0
四半期包括利益	△52	595
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△52	596
非支配株主に係る四半期包括利益	-	△1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

(税金費用の計算)

税金費用については、当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益又は損失に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(追加情報)

(連結の範囲の変更)

第2四半期連結会計期間より、ヴィレッジヴァンガードプレース株式会社は会社分割により事業承継したため、連結の範囲に含めております。